

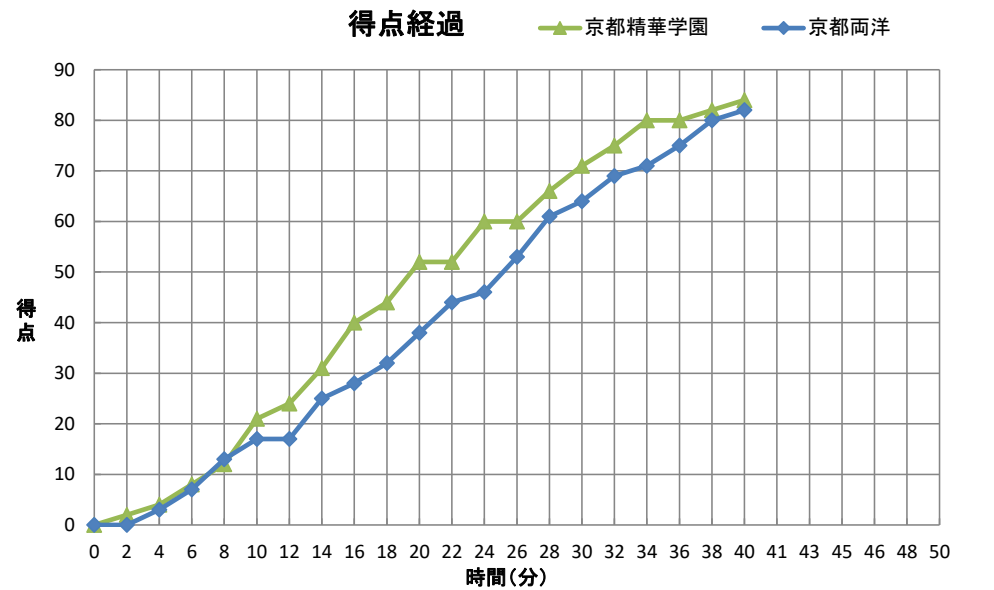


令和6年度全国高等学校総合体育大会京都府予選 兼
第71回近畿高校バスケットボール大会京都府予選

個人トータル表

女子		6月8日				12:30 開始															
決勝		山城総合運動公園体育館				A															
◎ 京都精華学園 84		<table border="1"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>31</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>26</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>				21	1st	17	31	2nd	21	19	3rd	26	13	4th	18	82		京都両洋	
21	1st	17																			
31	2nd	21																			
19	3rd	26																			
13	4th	18																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 4	林 咲良	14	1	5	1	0	1	ユヌス カオナラ ボルツァフェ	0	0	0	0	2								
* 5	橋本 芽依	20	3	4	3	2	* 2	杉山 心月	22	6	2	0	1								
* 6	桃井 優	9	1	3	0	3	3	森口 笑来美	0	0	0	0	0								
7	大久保 舞奈美	-	-	-	-	-	5	高原 綾乙	-	-	-	-	-								
8	山口 優利亜	-	-	-	-	-	* 7	木谷 夢菜	12	1	3	3	2								
9	金丸 千蓮	-	-	-	-	-	8	谷口 心綾	19	0	9	1	4								
10	吉田 ひかり	0	0	0	0	1	* 9	岡田 彩葉	13	1	3	4	4								
11	石井 日菜	0	0	0	0	2	13	細見 夏希	-	-	-	-	-								
12	田中 鈴音	-	-	-	-	-	* 14	ビクトリア ウピ オコイ	8	0	4	0	4								
13	満生 小珀	2	0	1	0	1	18	中野 有佳子	2	0	1	0	0								
14	金谷 悠加	2	0	1	0	0	24	中島 芯	-	-	-	-	-								
15	ンガルラ ムクナ リヤ	11	0	4	3	2	26	藤田 瑞木	-	-	-	-	-								
* 16	石渡 セリーナ	8	0	4	0	2	55	吉田 萌心	-	-	-	-	-								
17	坂口 美果	4	0	2	0	0	69	廣浦 杏	0	0	0	0	1								
* 18	ユサフ ボランレ	14	0	6	2	3	* 77	林 英美	6	0	2	2	1								
コーチ	山本 綱義					0	コーチ	吉田 聡					0								
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	甲良 泰明													
合計		84	5	30	9	16	合計		82	8	24	10	19								
主審: 小出 聡子																					
副審: 山下 大輔																					
副審: 杉山 栄規																					

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	21:45	:	:	:	:
TeamB	14:44	33:06	36:16	39:44	:	:

〔戦評〕
女王京都精華と悲願の優勝を狙う京都両洋の京都府女子決勝戦。第1Q京都精華ボールでゲームスタート。京都精華#4のドライブインで先制する。負けじと京都両洋#2の3Pでやり返す。ゾーンディフェンスで守る京都両洋に対して京都精華は外からのシュートで応戦するが中々決められない時間が続く。交代した京都精華#13がドライブからのアシストでゴール下の#18が確実に沈める。対する京都両洋はエース#7がドライブからのジャンプシュートで対抗する。終盤京都精華#5の連続3Pをしっかりと決め切り、21-17の京都精華リードで第1Q終了。

第2Q京都精華はマンツーマンディフェンス、京都両洋はゾーンディフェンスでスタート。京都精華は#4の速攻から#18の合わせで得点する。対する京都両洋#9がピック&ロールをうまく使い、フリースローを奪う。続けて、京都両洋#9のドライブから#14のゴール下の合わせで追加点を奪う。また、京都両洋#8がハイポストからのシュート、速攻からの得点で流れは京都両洋に。しかし、京都精華は#5のドライブイン、#18のゴール下で対抗し、残り5分京都両洋はたまたまタイムアウトを請求する。タイムアウト明け、京都精華の勢い止まらず、交代した#10、#11、#17が流れを渡さない。しかし、苦しい展開の中、京都両洋#2の3P、#77のゴール下で反撃する。互いに得点を重ねる中、最後は京都両洋#7のブザービートを決め、52-38の京都精華リードで前半終了。

第3Q京都両洋#14のゴール下シュートで先制する。続けて#7のジャンプシュート、#77の速攻で8点差に詰め、最高のスタートを切る。たまたま、京都精華は残り8分でタイムアウト。流れを掴みたい京都精華は#15のリバウンドからのキックアウトで#14のジャンプシュートを沈める。対する京都両洋はダブルチームからのスティールで得点し応戦する。続けて京都両洋は速攻からコーナーにボールを飛ばし、#2の3Pで一進一退の展開へ。京都精華はキャプテンの#4がミドルジャンプシュート、#15のゴール下でのバスケットカウントでリードを渡さない。71-64の京都精華リードで第3Q終了。

第4Q互いの応援席が白熱する中、勝負の最終Qへ。先制は京都両洋#8のミドルシュート。対する京都精華は#16が難しい左手のレイアップシュートを沈める。その後、京都精華#5、京都両洋#2が互いに3P決める展開へ。京都両洋#7が1on1でレイアップを狙うが惜しくも外れ、その後#14がリバウンドをしっかりと取りセカンドシュートを決める。残り3分、京都両洋#7の1on1からバスケットカウント、さらに#7の1on1からゴール下に飛び込んだ#8が決め、ついに80-80の同点に。会場のボルテージは最高潮となる。この状況で京都精華#4がここでも冷静な判断でゴール下のレイアップを沈め、残り23秒で84-82京都精華のリードし、京都両洋がタイムアウトを請求する。

残り16秒、京都精華ボールで再開。ここで京都両洋はスティールし、逆転の3Pを放つも、惜しくも入らずタイムアップ。最後まで分からない展開、互いの攻防を出し尽くした内容であったが、84-82で京都精華が18回目の優勝を飾った。この夏、全国IHでの京都精華の活躍に期待したい。